

結果の概要及び統計表の見方についての留意点

1 調査票の種類と対象者（年齢は令和4年10月末時点）

第11回調査は、男性票及び女性票の2つの調査票において調査を実施した。対象者は以下のとおりである。

- ① 30～39歳（昭和57年11月～平成4年10月生まれ）の男女
（平成24年10月末時点で20～29歳）
- ② 第1回調査実施時に把握した①の配偶者

※ 第1回調査は、②の者は配偶者票の対象者として調査を実施していたが、第2回調査以降は、配偶者票を廃止したため、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。一方、①の者が第2回調査以降に結婚したと回答した場合、その配偶者に関する情報は、配偶者票ではなく、男性票及び女性票の中で把握している。

このため、第1回調査と第2回調査以降における配偶者に関する情報は、把握している調査項目に違いがあることに留意し、結果を見る必要がある。

2 調査時点について

- （1）項目中の「第1回」「第2回」「第3回」「第4回」「第5回」「第6回」「第7回」「第8回」「第9回」「第10回」「第11回」とは、それぞれの回で把握した状況である。
- （2）「結婚前」「結婚後」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査において把握した状況である。
- （3）「出生前（出産前）」とは、出生があった調査回の前回調査時に妊娠が判明している場合は前々回の調査、妊娠が判明していない場合は前回調査において把握した状況である。
なお、「出生前データ」とは、出生前（出産前）の時点で把握した対象者のデータをいう。
- （4）「出生後（出産後）」とは、出産直後の調査において把握した状況である。
- （5）「10年間」とは第1回調査から第11回調査の間、「9年間」とは第2回調査から第11回調査の間のことという。

3 その他

各用語の説明は、「用語の定義」を参照のこと。